

神代地域運営体だより

平成24年10月1日

第3号

通巻第15号

産業振興部から

発行機関 神代地域運営体

発行責任者 古郡朝男

神代字野中清水 292-1 TEL 44-2112



産業振興部では7月4日（水）由利本荘市役所を視察し、集落活性化事業への取り組みや課題について、農業振興課 三浦課長他 2名の方からこれまでの経験に基づいた意見を頂きました。

国際教養大学の学生が各地区に入り、地域の資源を発掘しその活用を図った事に関しては、住民たちでは気付けない発見が多々あり

地域の活性化に繋がったケースがあると同時に、見ず知らずの人がいきなり地域に入ることの難しさや、地区間で事業への取り組みに対する温度差があることが課題としてあったとのことでした。

その他としては、事業の成功率は決して高くないこと、資金の使途が本来意図したものとなっていない場合もあることなどが問題点としてありました。

当運営体と共通の悩みとしては地域の規模に対しての事業資金が十分ではないこと、地域内での繋がりや事業への関心が薄いことなどが挙げられました。

そして今後の取り組みに関しては、事業を立案する企画力とそれをアピールする力を各地域に育てていくことが大事であるのではないかということでした。そのため、神代の各地区でも活性化に対して住民の意見を取り入れられるよう意見を取り交わす場を作る必要があるように感じました。

青年女性部から



青年女性部では、神友会と協力して5月12日（土）に行われた神代小学校運動会に参加しました。あいにくの雨により神代体育館での競技でしたが、地域交流を目的とした地域対抗綱引きは父兄の熱いプレーと子供達の歓声により大いに盛り上がりました。

今後は、さらに部員を増やして精力的な活動を展開していきたいと考えております。どうか多くの方々のご参加をお待ちしております。

田邊新副市長より講演をいただく

去る7月30日（月）産業振興部では、就業改善センターにて田邊浩之副市長を講師に招いて六次産業化への取り組みについて講演をいただきました。

講演会では様々な成功例を取り上げながら、神代地区での六次産業ビジネスの開始に向けては、いきなり大きな投資を伴う行動よりも、地



元の学校給食での採用を目指すというような、地に足の着いた活動から始めるのがよいのではないかというアドバイスをいただきました。

地域運営体では、市の総合産業研究所の協力を仰ぎながら六次産業ビジネスの発足に向けて取り組んでみたいと思います。

実行委員会が発足しました
～神代地区長寿を祝う会～

実行委員長	高橋 達			
実行委員	藤井 宏一	真崎 貞子	草薨 良子	
	古郡 貞彦	古郡 洋平	藤井 英雄	
	古郡 朝男	仙北市	仙北市社会福祉協議会	

（くわしくは別紙パンフレットをご覧ください。）

事務局から

地域と共に歩む

今年度、事務局は細川会長を先頭に古郡（朝）局長、古郡（洋）次長の3人体制で活動しております。各支援部や市当局との連絡調整、交付金の効果的運用等が活動の中心です。現在は、神代地域運営体の目標である「農業を中心とした活力ある地域づくり」に向けてどのような改善が必要か話し合いを重ねております。また、交付金という限りある予算により、各支援部の活動が制約されるため、市に対して各地域運営体一律500万円という制度の見直しを働きかけております。神代地域運営体はボランティア団体であり、神代地区のために役立とうという人たちの組織でもあります。地域の皆様のご協力のもと活動をおこなっておりますので、今後とも何卒ご理解とご支援の程よろしくお願いたします。